

茶道望月集

顯岑院本 (二)

白 寄 顯 成 著

2013年1月刊行予定

▶ A 5判・860頁／定価16,800円 (税5%込) ISBN978-4-7842-1667-3

京都の紫雲山くろ谷金戒光明寺の塔頭顯岑院に、数多く伝えられている庸軒流茶書。それらを翻刻するシリーズの第2弾。

本書は、藤村庸軒(1613~99)の孫弟子、風後庵又夢久保可季による享保8年(1723)成立の茶書。風後庵又夢の師、鳩庵横井等甫から伝授された「庸軒流茶法」40巻、「七ヶ条極秘切紙」3巻の内容を盛り込み、庸軒流茶法を詳述したものである。

目次

はじめに一凡例と各巻冒頭目次一覧一

茶道望月集 首・尾
一〜四十
追加
追加目録

解題 国立国会図書館本目録
西尾市岩瀬文庫本目録
広島市浅野文庫本
流布本について
翻刻・研究書について
岩瀬本茶道望月集追加

人名索引

(しらすき けんじょう)

1941年京都・顯岑院に生。京都大学大学院文学研究科修士課程(宗教学仏教学専攻)修了。密教図像学会常任委員。京都花蓮研究会会長。神戸女子大学名誉教授。『蘭室藤村正員年譜考』(思文閣出版, 2003年)。『藤村庸軒年譜考』(思文閣出版, 2009年)。『藤村庸軒をめぐる人々』(思文閣出版, 2011年)。『藤村庸軒流茶書』(思文閣出版, 2012年)

茶道望月集 一

二冊

茶道望月集 一

- 第一 茶事流儀之事
 - 第二 四畳半座敷之事
 - 第三 茶事の客約束之高早次第之事
 - 第四 其日の道具他所と取合差合心持之事
 - 第五 夜込朝昼晩夜咄并朝夕同度菓子之茶事の時初心の聞前口懸を記す事
- 付客中對座之刻燈火持参之会尺又置花入の薄板置様心持又置花入釘等の事

第一 茶事流儀之事
一我朝にて今に至り茶を飮て興する事ハ 鹿苑院義満公の比より行る、事 段々ニ奥に云ことし 其外凡テ賓客 榮應の禮法を武家におかれてより 夫を又學て未々迄習て今の世の染と成事をいは、先武家に賓客榮應の禮法をおかれて其も、する所ハ 足利尊氏公の先鎌倉の比禪法盛に行れて 其比寺院に唐土の法を模して座敷 書院又床と名付て 貴家の上段を移して夫に祖師の法語名畫の山水の絵 其前に香炉花瓶三ツ具足の飾 書院 に観音佛物等喚鐘鉦の飾行れたるを 次第に俗家に移して右にいふ義満公の比より義政公の比まで次第に行 ひ来て 能藝相阿弥等の親子打續き達人出て唐土の礼記の賣主の禮法を加へて其法を嚴重に増補して習とする

37

組見本

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	茶道望月集		本体16,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1667-3
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				
				本書HPのQRコード	書店番線印

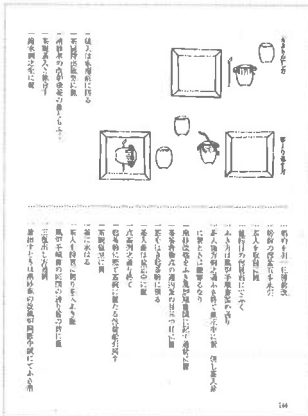
藤村庸軒流茶書 [顕岑院本一]

白寄顕成著

2012年3月刊 好評発売中

▶A5判・528頁／定価11,025円(税5%込) ISBN978-4-7842-1624-6

京都の紫雲山くろ谷金戒光明寺の塔頭である顕岑院には多くの庸軒流茶書が伝えられている。本書には、その中から息子の正員が庸軒の茶話を筆記したと思われる『藤村庸軒茶談』のほか、観山によって定められた庸軒流茶道の基本となる稽古次第を中心に収める。



(組見本)

藤村庸軒年譜考 [全2冊]

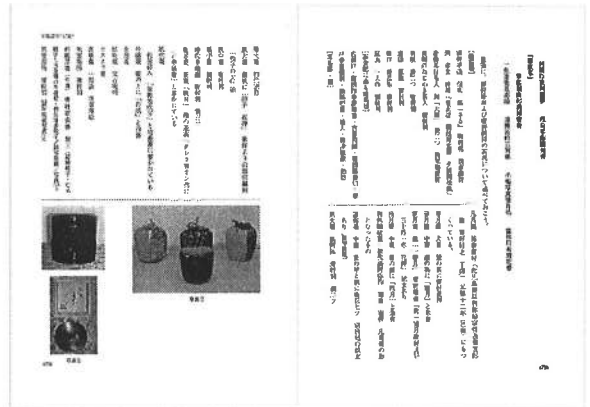
白寄顕成著

2009年6月刊 好評発売中

▶A5判・総1848頁／定価36,750円(税5%込)

ISBN978-4-7842-1456-3

藤村庸軒(1613~1699)は、儒者・儒学者であり、漢学・和学にわたる広い教養と、卓越した美的センスにより、漢詩・和歌・作庭・花道・茶具の製作に才能を発揮した。多くの文人墨客との交わりをその詩集に書き残している。また、創意工夫による独自の茶の技を展開し、道としての解脱に至り、庸軒流茶道を完成させた。本書は、庸軒の生涯の動向を、文献学的方法にもとづき歳ごとに明かした異色の年譜考。



(組見本)

藤村庸軒をめぐる人々

白寄顕成著

2011年3月刊 好評発売中

▶A5判・790頁／定価17,325円(税5%込) ISBN978-4-7842-1554-6

本書は、一族の人々・門弟達・儒教の師・茶道の師・友人の儒者・医師達の事蹟をたどることで、藤村庸軒の実態について新たな角度からのアプローチを試みる。

《掲載人物》【三宅亡羊】漢学の師／【千宗旦】茶道の師／【藤村恕堅】庸軒長男／【藤村正員】庸軒三男／【久須見疎安】庸軒娘婿／【北村幽安】庸軒門弟／【山本退庵】庸軒の門人／【大文字屋宗積】庸軒縁戚／【有馬涼及】庸軒の友人／【田屋横井等怡】庸軒の義父



蘭室藤村正員年譜考

白寄顕成著

2003年12月刊 好評発売中

▶A5判・480頁／定価6,090円(税5%込) ISBN4-7842-1173-X

藤村庸軒の三男藤村正員(1650~1733)の事跡について、自著『蘭室草』の収録作品(漢詩・和歌など)にそいながら、生涯の動向を歳ごとに明かした異色の年譜考。漢詩にみられる父庸軒ほか一族との交流や、広汎な諸資料にもとづいた京坂の茶人・文人たちとの交わりは、茶道を軸とした近世文化史の一側面を伝える趣きを備えた一書。

